令和７年度　南 砺 市 立 保 育 園 審 議 会 （ 第 ２ 回 ）

日時：令和８年２月２０日（金）
午後２時００分～
場所：市役所別館３階大ホール

１　開会

２　協議事項

（１）「福光南部あおぞら保育園」統合について　資料№.１　別冊№.１

（２）「福光南部あおぞら保育園」統合に関する保護者会実施報告
資料№.２　別冊№.２

（３）「福光南部あおぞら保育園」の統合に関する答申書（案）　資料№.３

３　閉会

南砺市立保育園審議会委員

任期:令和6年4月1日～令和8年3月31日

No	出欠	役職	職名等	氏名	団体名など	備考
1		会長	学識経験者	宮田　徹	富山短期大学　副学長	
2		副会長		木下　三喜子	南砺市保育スーパーバイザー	
3			市民生委員児童委員連絡協議会	得能　金市	市民生委員児童委員連絡協議会 会長	
4			市立保育園保護者代表	山根　正行	城端さくら保育園	
5				野村　将史	井波にじいろ保育園	
6				西　奈津代	福野ひまわり保育園	新
7				嶋　潤之介	福光どんぐり保育園	
8			市地域づくり協議会連合会	松本　久介	城端地域代表者	
9				南田　実	平地域代表者	
10				田中　進	上平地域代表者	新
11				野原　宏史	利賀地域代表者	
12				高野　豊	井波地域代表者	新
13				長田　貢	井口地域代表者	
14				畠中　俊夫	福野地域代表者	新
15				戸成　博宣	福光地域代表者	
16			市保育士会	中段　久美子	市保育士会　会長	新
17			公募委員	北野　恵美	平みどり保育園	
18				森井　勇真	上平保育園	
19				米倉　真理	利賀ささゆり保育園	
20				谷　奈津紀	井口保育園	

事務局	山田　智紀	総合政策部長	
	山田　千佳子	こども課長	
	石﨑　裕子	こども課主幹・保育園係長	
	山田　真由美	こども課主幹	
	髙瀬　夕紀	こども課主幹	
	藤井　志保	こども課副主幹	
	窪田　晋一	こども課主任	

資料No.1

「福光南部あおぞら保育園統合について」審議状況

１．第１回南砺市立保育園審議会

開催日：令和７年１２月２４日（水）１０時～

審議内容：福光南部あおぞら保育園の統合の進め方と統合時期について

■統合の進め方については、保護者の意向を尊重し、地域住民への丁寧な説明を行いながら慎重に進めるべき。

■統合の時期は子どもの最善の利益を第一に考えるべき。

■審議会でまとめた意見を資料化し、地域の皆様に分かりやすく伝えること。また、小学校統合との関連も意識しながら、子どもたちにとって最適なタイミングを探ること。

２．地域説明会

開催日：令和８年1月２９日（木）１９時～

場　所：福光南部あおぞら保育園

参加者：・太美山、西太美、東太美、広瀬舘地づ協関係者　８人

・福光南部あおぞら保育園保護者、福光南部小学校 PTA　１７人

・民生委員・児童委員　７人

・その他地域の関係者　２人

（当局）

・保育園審議会委員　３人

副会長　木下委員、福光地域づくり協議会代表　戸成会長

保育士会　中段委員

・園長（福光地域３園）３人

協議内容：

【統合の時期】

■なるべく早く統合してほしい。

■来年度５歳児はどれになっても変わらない、３歳未満児はいずれにせよ転園が必要、一番影響があると思われる３歳児・４歳児・５歳児の保護者の意見を優先してほしい。アンケートをとればどうか。

■小学校、中学校の統合時期と同時になると、子供も保護者も負担が大きい。保育園は１年先か、１年後か、ずらした方がよい。

【懸念事項】

■小規模なりの仲の良さ、手厚い保育があった。大規模になると心配。

■園児の地域づくり協議会の行事への参加が無くなるのではないか。

■統合後、施設はどうなるのか。

■小学校統合のように最初から公立１園（福光地域）はないのか。

■福光南部あおぞら保育園の職員を園児の転園先に異動、喜志麻保育園への職員配置はあるのか

【意見とりまとめ】

■統合については了承された

■統合の時期については、保護者の意見を最優先するため、
アンケートをとって保護者全員で意見をとりまとめいただく。

３．福光南部あおぞら保育園　統合に関する保護者会

開催日：令和８年２月１０日（火）19 時～

場　所：福光南部あおぞら保育園

参加者：保護者１６名

審議内容：アンケートの結果を踏まえ、保護者会意見を決定する。

審議の結果：

【統合時期】

アンケートで最多の「令和９年４月１日（早期統合）」とする。

【市への要望】

福光どんぐり保育園・福光東部かがやき保育園へ「現在の職員を必ず配置すること」および「統合前からの交流保育の充実」を確実に実施し、子どもたちの心理的負担を最小限に抑えること。

※「福光南部あおぞら保育園」統合に関する保護者会実施報告書のとおり
資料№.２

４．　第２回南砺市立保育園審議会

開催日：令和８年２月２０日（金）１４時～

場　所：南砺市役所別館３階　大ホール

審議内容：統合時期について、地域説明会及び保護者会意見の報告

別　冊No.1

地域のみなさまと考える

保育園統合によるメリット・デメリット
～皆さんの不安を安心に～

より良い保育環境の実現に向けて

こどもの育ちの視点

01

集団生活での成長と、きめ細やかな関わりについて

こどもの育ちへの影響

よくなること

- **たくさんの友達の関わり**
  多様な個性や年齢の友達と過ごすことで、社会性や思いやりの心が育ちます。
- **充実した遊びの環境**
  広い園庭や多くの遊具、多様な設備を使って、のびのびと体を動かせます。
- **就学前の準備がスムーズ**
  大人数での生活に慣れることで、小学校への入学も安心感を持って迎えられます。

心配なこと

- **新しい環境への慣れが必要**
  場所や関わる人が変わることで、最初は緊張や疲れを感じる子がいます。
- **一人ひとりの個別対応**
  人数が増える分、その子のペースに合わせた細かな配慮が届きにくくなる不安があります。
- **友達関係のつくり直し**
  これまでの少人数での関係が変わり、新しい仲間の輪に入るための時間が必要です。

安心への道しるべ

- ✓ 小学校の大集団に慣れる前段階として、少しでも早く環境の変化に慣れておくことで、小学校生活への移行がスムーズになることが期待されます。
- ✓ クラス集団が大きくなると副担任や保育補助の対応が加わります。（＝細やかな配慮の維持が可能）
- ✓ 多様な人間関係を学ぶことはこれから先の財産となります。

※今回の統合は、将来の小学校統合も見据え、お子さんたちが新しい環境へ段階的に慣れていくための大切なステップと考えています。

”不安”を”安心”に　～こどもの不安を安心に変えます～

具体的な対策を行います（一部は既に実施しています）

- **事前交流の実施**
  統合前から福光地域公立3園では、「合同行事」や「交流保育」を行い、新しい友達や保育士に少しずつ慣れていける時間を設けます。（既に実施しています）
- **複数の保育士で見守る**
  複数の保育士でこどもたちを見守ります。大規模でも一人ひとりに寄り添った保育を継続します。
- **居場所の確保**
  福光どんぐり保育園、福光東部かがやき保育園の広い園内では、こどもたちが「自分の場所」として落ち着けるコーナーや安心できる充分なスペースの確保ができます。
- **転園する不安解消**
  福光南部あおぞら保育園の園児の交友関係に配慮したクラス配置を行います。また、統合初年度は、福光南部あおぞら保育園の職員を福光どんぐり保育園、福光東部かがやき保育園に配置します。





※福光地域公立3園「交流保育」の様子

※今回の統合は、将来の小学校統合も見据え、お子さんたちが新しい環境へ段階的に慣れていくための大切なステップと考えています。

保護者の視点

02

利便性の向上と、安心できるサポート体制

保護者の暮らしへの影響

よくなること

- **サービスの充実**
  病後児保育や休日保育など、ニーズに合わせたサービスが利用しやすくなります。福光どんぐり保育園、福光東部かがやき保育園には看護師が常駐しています。
- **利便性の向上**
  自宅や職場からの距離、交通の便など、一部の保護者にとっては送迎の利便性が向上する可能性があります。
- **保護者同士のつながり**
  交流の場が広がり、子育ての悩み相談や情報交換が活発になります。

心配なこと

- **通園や園生活にかかる負担**
  徒歩から車への変更など、送迎ルートの変更や送迎時間が増える可能性があります。
- **慣れ親しんだ雰囲気の変化**
  これまでの園の行事や保育士が変わることへの不安があります。
- **地域コミュニティの影響**
  身近な園がなくなることで、地域とのつながりが薄れる心配があります。

安心への道しるべ

- ✓ 送迎ルートや時間など、ご家庭ごとの状況について個別に相談できる機会を設けます。
- ✓ 統合の初年度は、福光南部あおぞら保育園の職員を統合先の園に配置します。
- ✓ 福光南部あおぞら保育園が大切にしてきた地域活動は引き継ぎます。

”不安”を”安心”に　～保護者の不安感を緩和します～

具体的な対策を行います（一部は既に実施しています）

- **保護者同士の交流**
  拠点保育や交流保育（参観）を通じて、こども達や保護者の活動の基礎作りが出来ています。
- **地域交流の実施**
  統合先の福光どんぐり保育園、福光東部かがやき保育園の行事に、積極的に地域の方々をご招待する等、交流を図ります。
- **保育園との連絡**
  CODMONを利用しての連絡方法は、今までと変わりません。今までどおり、保育ドキュメンテーションでこどもの育ちを見守ることができます。
- **園活動に必要なお道具類**
  福光地域公立3園では、園児服や運動帽子、お道具類は統一のものを利用しています。新たに購入する必要はありません。





※福光地域公立3園「交流保育参観」の様子

保育者の視点

03

保育の質の向上と、働きやすい職場づくり

保育士の専門知識をより活かしやすくなります

よくなること

- **負担の軽減と協力体制**
  保育士の数が増えることで、事務作業や行事の準備をチームで分担できます。
- **スキルと知識の共有**
  多様な経験を持つ保育士が集まり、お互いに教え合うことで保育の質が上がります。
- **柔軟な人員配置**
  急な欠勤の際もフォローしやすく、こどもが安心できる保育を提供できます。
- **専門知識の習得**
  看護師の常駐により、専門知識の習得ができ保育士のレベルが向上します。

心配なこと

- **新しい環境への順応**
  園や地域の行事やルールになじむまで、時間と労力が必要となります。
- **人間関係の再構築**
  新しいチームになじむまで、精神的な疲れを感じるスタッフもいます。
- **アットホームさの維持**
  大規模化しても、家庭的な温かさや密な連絡をどう保つかが課題です。

安心への道しるべ

- ✓ 公立保育園は、保育目標や保育方針は同じものです。交流保育を通じて、保育士も保育活動のねらいを共有しています。
- ✓ 全職員が共通の研修会や交流会を通じて、円滑なコミュニケーションとチームワークの構築を行っています。
- ✓ 交流保育や共通の研修会などとを通じ、保育士同士の交流、連携ができています。

公立保育園だからこそできる、質の高い保育と連携体制

チームの力で、保育の質をさらに高めます

- **共通の「業務内容」**

  公立保育園では、どこの園に所属しても職員の業務内容は変わりません。定期異動により、スタッフは大規模園・小規模園を経験します。統合により、保育士の数が増えることで、事務作業や行事の準備をチームで分担できるようになります。また、自園での園内研修がより充実し、保育士全体の質の向上につながります。

- **共通の「保育目標、保育方針」**

  福光南部あおぞら保育園、福光どんぐり保育園、福光東部かがやき保育園のいずれも、「南砺市保育目標」に基づき、保育を実施しています。交流保育を通じて、「保育活動のねらい」も福光地域公立3園で共有しています。

- **共通の「学び」からの「向上」**

  福光地域公立3園で実施している研修会（発達支援研修やCODMON委員会など）もあり、職員の連携や保育に関する連携も行われています。また、福光どんぐり保育園と福光東部かがやき保育園には看護師が常駐しているため、保健衛生への専門知識が習得でき、保育士の質の向上に繋がります。



※福光地域公立3園合同「職員研修」の様子

より良い保育環境の実現に向けて

みなさまの率直な想いをお聞かせください。

本日お聞かせいただいたご意見は、今後の方針に際し、大切に活かさせていただきます。

資料No.2

「福光南部あおぞら保育園」統合に関する保護者会 実施報告書

開催日時： 令和８年２月 10 日（火）19 時～
出席者： 保護者（16 名）、福光南部あおぞら保育園園長、こども課
進行： 父母会会長

1. 結論（合意事項）

事前アンケートの結果および、意見交換を踏まえ、以下の内容を「保護者会の意向」として確認し、保育園審議会へ報告することに合意した。

（１）統合時期について
アンケートで最多の「令和９年４月１日（早期統合）」とする。
（２）安心の担保（市への要望）
福光どんぐり保育園・福光東部かがやき保育園へ「現在の職員を必ず配置すること」及び「統合前からの交流保育の充実」を確実に実施し、子どもたちの心理的負担を最小限に抑える。

2. 質疑応答（全記録）

【当事者世帯の意向について】

質問①：令和９年度の統合時に在園している学年（現・うさぎ、ぱんだ、もも組）に限定したアンケート結果はどうなっているか？

- 回答（市）： 該当する回答世帯の内訳は以下の通りです。
  - ① 令和９年４月１日 希望：４名　57%
  - ② 令和 10 年４月１日 希望：１名　14%
  - ③ 令和 11 年４月１日 希望：２名　29%

【意思決定のプロセスについて】

質問②：各家庭で事情が異なるため、100 点満点の結論は出ない。一つの意見に集約できない場合、「アンケートの結果をそのまま結論とする」という扱いで良いか？

- 回答（市）： アンケート結果を保護者会の結論として審議会へ委ねることは可能です。しかし、結果として保護者の皆様の本意ではない判断が下されるリスクを避けるため、できる限りこの場での議論を通じた「生の声」を大切にしたいと考えています。

【存続の可能性について】

質問③：統合時期を決めず、在園児が０人になるまで開園し続けるという考えはないのか？

- 回答（市）： 選択肢としてはあり得ますが、教育的観点からは慎重な判断が必要です。極めて少人数、あるいは一人きりの環境で過ごすことが、子どもの社会性を育む機会を奪うことにならないか。大人が責任を持って「子どもにとって最善の環境」を整えてあげる必要があると考えています。

【職員の継続配置について】

質問④：統合先（福光どんぐり・福光東部かがやき）に、あおぞら保育園の職員を配置してくれるのか？

- 回答（市）： はい。必ず配置します。

  （※近隣の喜志麻保育園は令和８年度から認定こども園へ移行する。私立に、市職員の配置はできませんが、今回の公立統合先には必ず配置いたします。）

【転園後のケアについて】

質問⑤：転園した際、環境変化のストレスを和らげるために「慣らし保育」を実施してくれるか？

- 回答（市）： はい。実施いたします。 現在の新入園児と同様に、1～2 週間かけてお子様の体調や様子を見ながら、少しずつ保育時間を延ばす柔軟な対応を行います。

【交流の機会について】

質問⑥：統合してからではなく、統合前から交流保育を増やしてほしい。

- 回答（市）：その通りです。すでに行っている交流保育をさらに強化し、こどもたちが新しい環境や友達に馴染める機会を増やしていきます。

3. 今後の進め方

- 本日の合意事項を、令和８年２月下旬開催予定の「南砺市立保育園審議会」へ提出する。
- 今回の結論以外の回答をした保護者の不安や不満に対しては共に解決できる策を一緒に検討していく。どんなことでも園やこども課に言って欲しい。

以上

別　冊No.２

保護者アンケート結果報告書

福光南部あおぞら保育園 統合時期の検討に向けて

回答数 18件

令和8年2月10日 保護者会資料

分析の視点：3つの比較グループ

本報告では、地域説明会でのご意見に基づき、影響を受ける「令和8年度年少・年中・年長児」世帯の意向をまとめました。

① 全回答者（18名）

令和7年度卒園予定児のご家庭を含む、アンケート全回答者の集計です。

② R8年度年少・年中・年長児世帯（6名／18名）

統合による転園の影響を受ける学年（現在ぱんだ・年少もも・年中あお）のご家庭です。

③ R8年度在園予定児世帯（9名／18名）

令和7年度卒園予定児を除く、**統合時に在園する全ての園児**（現在0歳～年中あお）のご家庭です。

本日は、特にグループ②と③の意向を重点的に協議します。

統合時期の希望比較

① 全回答者（18名）



- 令和 9年4月1日　9人(50%)
- 令和10年4月1日 5人(28%)
- 令和11年4月1日 4人(22%)

② R8年度年少・年中・年長児世帯(6名)



- 令和 9年4月1日 4人(67%)
- 令和10年4月1日 0人(0%)
- 令和11年4月1日 2人(33%)

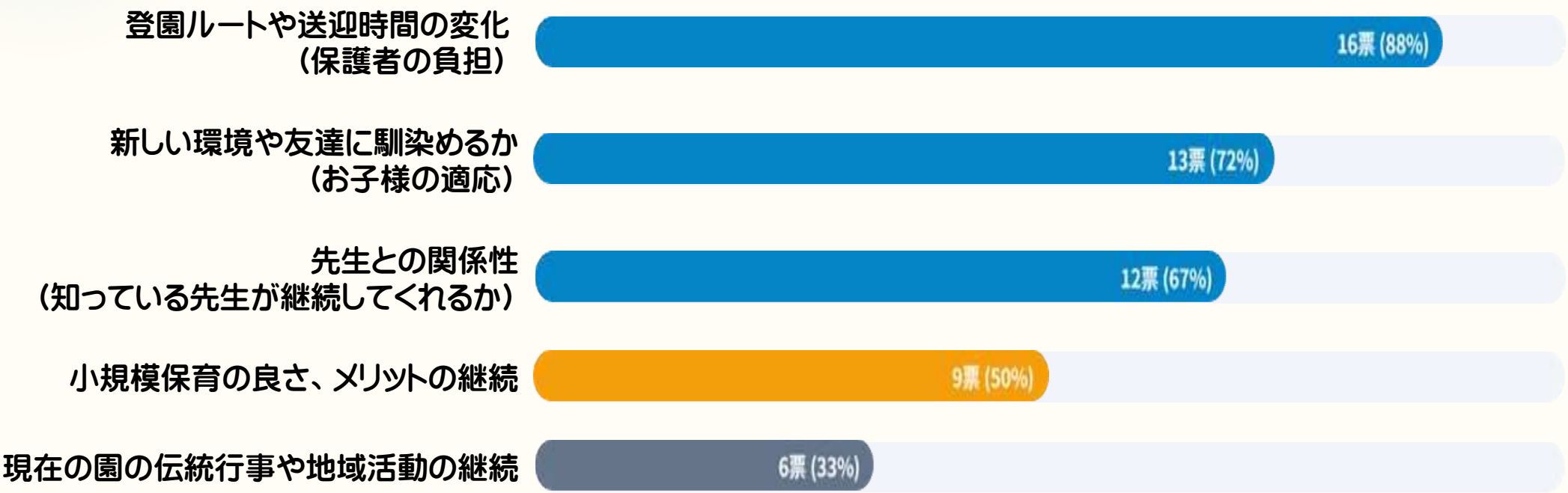
③ R8年度在園予定児世帯(9名)



- 令和 9年4月1日　5人(56%)
- 令和10年4月1日　1人(11%)
- 令和11年4月1日　3人(33%)

いずれの層でも「令和9年4月1日（学校統合よりも1年早い時期」が多数を占めました。
特に② 令和8年度年少・年中・年長児世帯 では、「令和9年4月1日（学校統合よりも1年早い時期」が多数を占めました。

統合にあたっての配慮・不安な点（複数回答）



「送迎ルートの変化」と「知っている先生が継続してみてくれるか」への要望が非常に高いです。

保護者様の声（原文のまま ①）

小学校も保育園も統合時期はいつでもいいですが、送迎バスの配備や制服、運動服等の統一を早めに決めてほしいです

保育園統合について。この前の説明会の意見でもありましたが、我が子と現在同じクラスのお子さんがどんぐりとかがやきどちらに行かれるか気になりますので、教えてもらう機会をいただけるとありがたいです。どちらに行くかは各家庭それぞれの状況で選ばれると思いますが、皆さんがどこに行くかも選択に影響を与えると思います。何も知らず、入園してみてうち一軒だけだったとかだと子供に申し訳ないので。

早いうちに集団生活に慣れたり、親は先生や送迎に慣れたりしたい。我が子に合わせた生活をしているので、転園をした際に、嫌がったりしたら早めにお迎えに行ったり、休んで休憩をしたりして工夫したいと思っている。あとは特に心配はしていない。

他の保育園との交流事業を定期的（月1とか）にやるべき。そうすればお互いが顔馴染みとなり、子供たちの不安が減り仲良く遊べると思う。

保護者様の声（原文のまま ②）

早いうちに集団生活に慣れたり、親は先生や送迎に慣れたりしたい。我が子に合わせた生活をしているので、転園をした際に、嫌がったりしたら早めにお迎えに行ったり、休んで休憩をしたりして工夫したいと思っている。あとは特に心配はしていない。

私の子供達は、今年度、年長なので、卒園します。来年度、あおぞら保育園を利用される方の意見を尊重してあげて下さい。南部校区内に、今まで有った、小学校も保育園も統合して、無くなります。若い方は、小学校や保育園近くに、住もうとするので、子供の人口がますます減ります。休日、公園で遊ぶにも町まで、出ないと遊べません。なので、南部校区にも、広々遊べる公園みたいのがほしいです。

あおぞら保育園から土曜保育でかがやき保育園を利用させていただいてますが、毎回行く事をしぶります。理由は知っているお友達が少ないからです。行けばいつも大体同じお友達だったり、配慮はしていただいているとは思うのですが、なかなかいつもと違う、たくさんの人数のところへ行って馴染む事は難しいのだと思います。そこに知った先生がおられる事は、子供にも、親にも安心できる大事な事だと思っています。統合しても、できるだけ安心できる環境を整えて子ども一人ひとりにできるだけ寄り添って欲しいと思います。

保護者様の声（原文のまま ③）

令和9年に入学する子供がいるので、令和9、10年は入学と統合で環境の変化によるケアが必要かとおもいます。その1年後に保育園統合であれば今1歳児の子の統合後のケアをしっかり出来るのではないかと思い、令和11年の統合希望です。 人数が少なく、運動会のパラバルーンができなかったのは寂しく感じました。 人数が多いと、出来る遊びの幅が広がったり様々な刺激があり成長に繋がるとは思いますが、人数が少ないのは悪いことばかりではないと感じています。少人数でおだやかに仲良く過ごしていたと思います。また、他の保育園より自然に多く触れ合える立地で、園周辺の草木や花で四季を楽しめる点でもあおぞら保育園はよかったと思いました。 統合に関しては、対象の保育園の保護者のはずなのに、統合します、統合時期はこの3案です、となんだかおざなりにされたような気持ちになりました。統合を決定する前にアンケートなどあってもよかったのではないかと思いました。

なるべく早い統合がいいと思っているのですが、今年みどり組になる子達はどんなに早い統合になったとしても集団で生活することなく卒園して小学校で集団の中に入っていくことになると思います。 難しいとは思うのですが、年度で区切らず今年の途中から統合とか、無理なら他の園との交流をもっともっと増やしてあげてほしいなと思いました。

保護者様の声（原文のまま ④）

小学校、中学校の統合で親に送迎の負担が増えることのないように対応してください。小学校と中学校が離れているため朝から保育園、小学校、中学校への送迎をすることのないようにバスの配置をしっかり考えてください。南部校区を一周するようなバスは意味がありません。バスの台数や運転手の質も気になります。安心できる環境を整えてください。 放課後の学童も今までどおり対応していただきたいと思います。（6年生まで利用可能）学童の場所についても気になります。学校の近隣で学童の検討をお願いします。 あおぞら保育園には感謝しかありません。小規模だからと言う理由だけではないと思っています、手厚さも、細やかな対応にも感心しています。今後、今までと同じ質で対応していただけるわけにはいかないと思うので親も気持ちの準備が必要だと思っています。 小学校、中学生、保育園の全ての統合において南砺市が安心できる環境をつくってくださることを期待しています。

入園が定員オーバーでできないという事態は起きないのか。現時点の入園より、しにくくなるという事態が起きてもらっては困る。

決定までのスケジュール

1月29日
地域説明会実施
統合方針の了承

**1月30日から
2月6日まで**
保護者アンケート
意見集約

2月10日
保護者会（本日）
時期の最終協議

2月20日
保育園審議会
統合時期の決定

**保護者様の「納得」と、こどもたちの「笑顔」を第一に、
本日この場で統合時期の最終協議を行います。**

（案）

資料No.3

令和８年２月 20 日

南砺市長　田中　幹夫　殿

南砺市立保育園審議会

会長　宮田　徹

答　申　書

「福光南部あおぞら保育園の統合」について、本審議会は慎重に審議を重ねてまいりました。その結果、下記のとおり答申します。

記

福光南部あおぞら保育園は、令和９年４月１日をもって統合することが適当である。

１．審議の経過と概要

本審議会では、第２次南砺市公共施設再編計画に基づき、福光南部あおぞら保育園の統合に関し、計２回にわたる審議を実施した。

12 月 24 日に行われた審議会では、統合を進めるにあたっては保護者と地元住民に対する説明と意見聴取が必要、とのことから、令和８年１月 29 日に地域住民および保護者を対象とした説明会を開催した。この説明会において、統合することについて異論はないが、統合時期については保護者の考えを尊重してほしい、との意見が数多くあったことから、福光南部あおぞら保育園在園の全保護者を対象としたアンケート調査を実施した後、令和８年２月 10 日に保護者の意見交換会を実施した。この会においては、当事者世帯との直接的な意見交換を行い、こどもの育ちの環境と保護者の利便性の両面から多角的な検討を行い、統合時期についての意見を出し合った。

本日の審議会では、上記の説明会や意見交換会での意見のほか、委員それぞれの知見により、最適な統合時期を審議した。

２．答申の理由

こどもの最善の利益のため、少人数環境の継続による社会性習得への影響を考慮し、適切な集団規模での教育・保育環境をできるだけ早期に確保すべきである。また、保護者の意見として、令和９年４月１日統合を望む意見が多数を占めている。

３．付帯意見

統合時における園児の環境変化に対する負担軽減のため、令和８年度の「統合先の保育園との交流保育の継続実施」および、令和９年度には、「統合先の保育園へ、福光南部あおぞら保育園職員の継続配置」を確実に遂行すること。

令和８年度および統合後において、保護者に対し園統合に関する不安や諸問題を解決できるよう対策を検討・実施するほか、地域住民等の意見も積極的に取り入れること。

以上